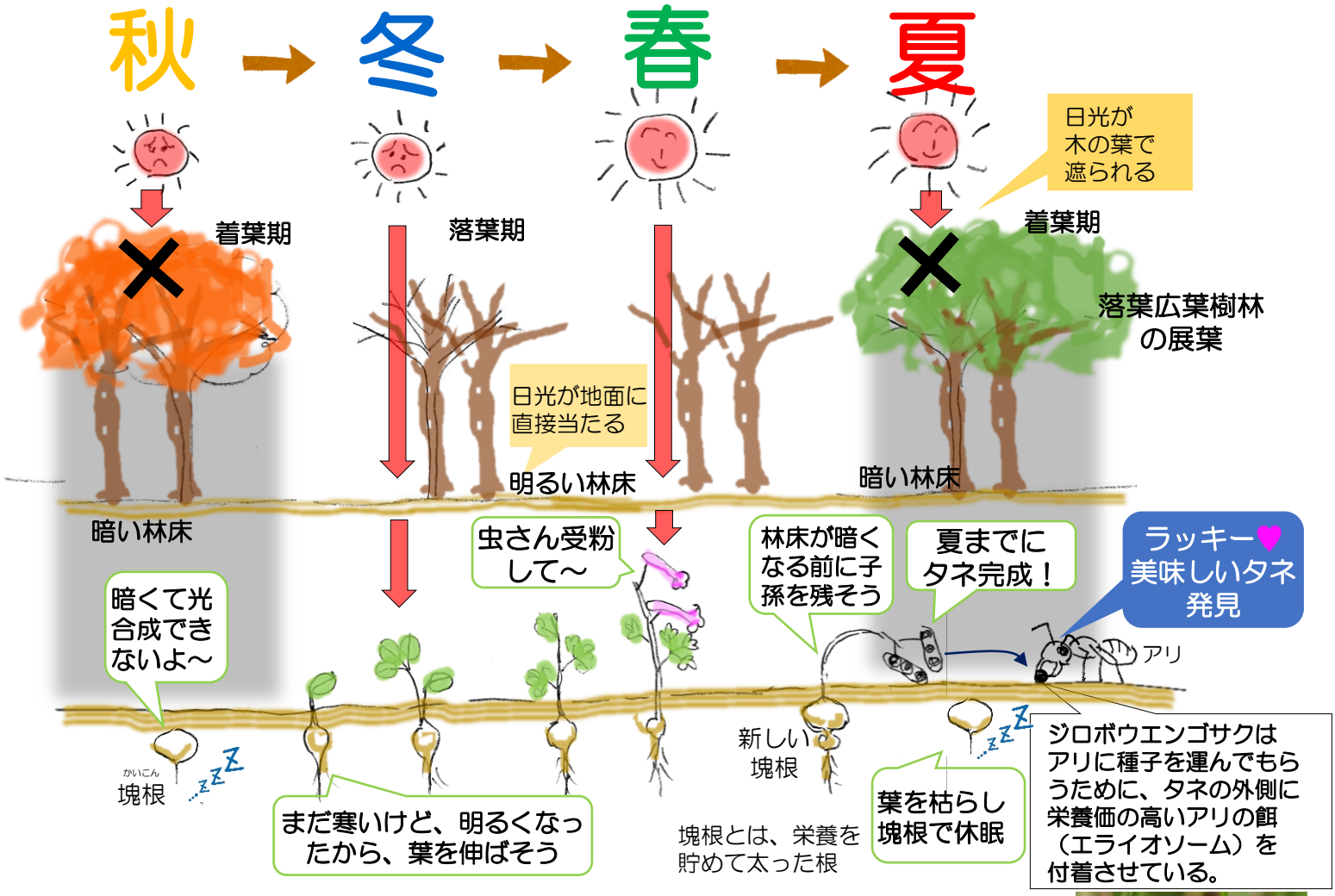
スプリング・エフェメラル
春の妖精　繁殖戦略

伊豆川哲也2024



ジロボウエンゴサクの繁殖サイクル

スプリング・エフェメラルとは、
　直訳だと「春のはかない命」ですが、林床で**早春に花**を咲かせ、夏までに**種子散布**を終わらせ、地下茎や球根に養分を蓄え翌春まで**休眠**する草本の総称で、**春の妖精**とも呼ばれます。
　夏は落葉広葉樹が茂って**林床が暗く**なり、光合成効率が落ちるため、その前に、**大急ぎで次世代をつくる繁殖戦略**で、ブナ帯に適応した進化なのです。

注：スプリング・エフェメラルは種の分類ではなく繁殖タイプの1つなので、夏でも葉を残すなど中間的なタイプもあります。

ジロボウエンゴサク　花4月→種子5月